

「文化力」を生かした自立・持続可能な地域づくり
“新しい時代の公” の担い手づくり

「^{うま}美し国おこし・三重」
地域づくりを加速する県民運動

平成20年10月

「^{うま}美し国おこし・三重」実行委員会

(事務局: 三重県政策部「美し国おこし・三重」推進室)

「^{うま}美し国おこし・三重」の目的とは？

「文化力」を生かした、自立・持続可能な地域づくり

目的に向けた 取組の 3つの柱

1

自発的な地域づくりグループの発掘・育成

“絆”づくりや、地域の資源を活用した付加価値づくりについて、既に取り組んでいるグループの支援や新たなグループの立ち上げ・育成を支援します。

2

自立性・持続性を高めるしくみづくり

グループの活動の自立性・持続性を高めていくため、中間支援組織の創設や機能の拡充を進めます。

3

新たなイベントスタイルによる 地域力の結集と成果の情報発信

プロセス全般をイベントとしてとらえる新たなイベントスタイルによる取組とし、各々の段階でイベントの持つ多様な効果を活用しながら進めます。

参考

文化力…三重県では、「文化」を芸術や文化財だけでなく、「生活の質を高めるための人々のさまざまな活動及びその成果」と広く定義したうえで、「文化の持つ、人や地域を元気にし、暮らしをより良くしていく力及び人や地域が持っている人々を引きつけ魅了する力」を「文化力」ととらえています。

(平成18年5月「みえの文化力指針」)

新しい時代の公…行政だけでなく、多様な主体の参画を前提として、公共の役割をとらえ直し、みんなで共に「公」を担っていくことで、住みよい地域社会をつくらうとするものです。

1. 「^{うま}美し国おこし・三重」がめざすもの

一言で言うと

自立・持続可能な地域づくり

「地域づくりとは？」

住民、事業者、市町、県その他の多様な主体が、地域社会の課題の解決に向け、自然、歴史、文化等の地域の資源や特性を生かし、地域社会の維持及び形成に資するために行う、県内各地域における持続的な活動のこと。

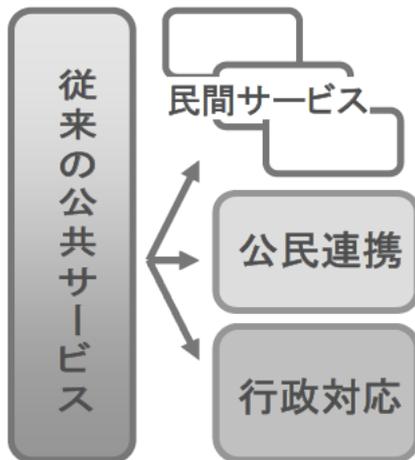
《三重県地域づくり推進条例より》

「自立・持続可能な地域づくりとは？」

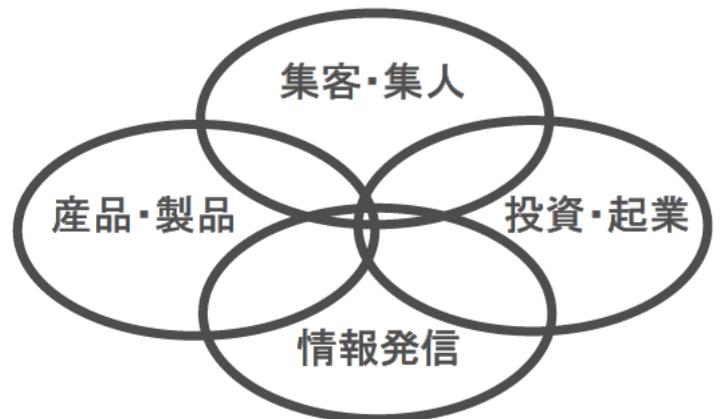
地域の皆さんが特色ある地域資源を掘り起こし、磨き上げることで地域が活性化し、自分たちがめざす地域づくりを自ら実践できるようになるとともに、これらの特色ある地域資源を活用した地域づくりが、人的・組織的・経済的に次世代へ継続できるしくみが整えられること。

二つの潮流

1. 公共サービスの公民連携



2. 新たな経済活動の創出



三つの変革

三重から発信する「自治変革運動」の集大成

- 1 住民の「自治意識」の変革
- 2 行政職員の「自治意識」の変革
- 3 「自治に関する制度」の変革

2. 「^{うま}美し国おこし・三重」の取組

地域づくりは、地域での暮らし全般が対象となります。

農林水産業、商工・サービス業、観光・交流、まちづくり、環境、健康、福祉・保健医療、教育、地域安全、防災、文化・芸術、スポーツ、国際交流など

それぞれの分野で活動を支え、役割を担っているのは、住民一人ひとりです。

一人の力よりは二人、さらには三人の力。グループの力が地域を変えていきます。

^{うま}
「美し国おこし・三重」が最優先するもの



地域づくりの活動を実践する
住民グループの力づくり



取組の手順

Step 1

事業の根幹となる住民グループの参画

Step 2

住民グループがパワーアップする環境の整備

Step 3

他のグループ・国内外のグループとの連携促進

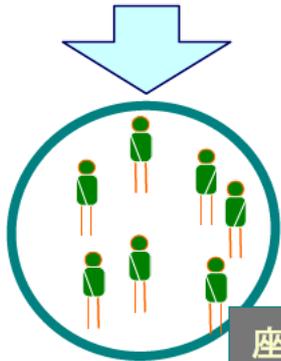
Step 4

活動のプロセス、集大成をイベントとして発信

3. 「^{うま}美し国おこし・三重」の進め方

Step 1 事業の根幹となる住民グループの参画 ①

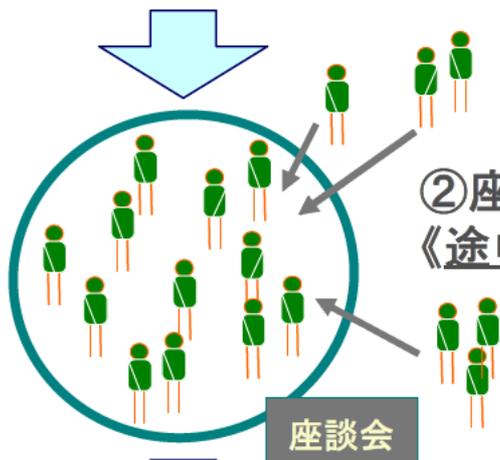
市町・地域



座談会

①市町・地域ごとに、地域づくりの活動をしている人や地域づくりに関心のある人に集まってもらい座談会を開催します。

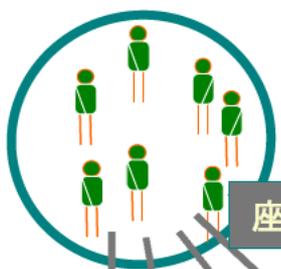
《実行委員会からファシリテーターを派遣します》



座談会

②座談会を繰り返し開催します。

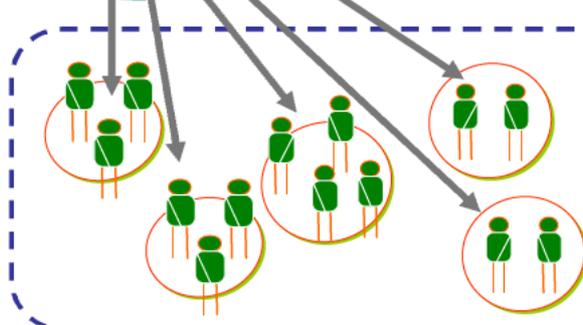
《途中からの参加もOKです。次年度以降も開催》



座談会

③「パートナーグループ」として登録をお願いします。

《具体的な支援の段階に入ります》



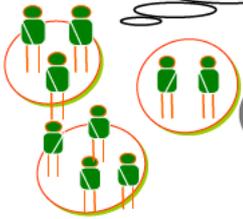
パートナーグループ

・2人以上(18歳以上)の主体構成
・取組の趣旨に沿った企業や団体(行政含む)の構成員は個人の資格で参画可能。ただし、NPOや自治会等、住民により構成されるグループも対象となります。

3. 「^{うま}美し国おこし・三重」の進め方

Step 1 事業の根幹となる住民グループの参画 ②

どのような活動が対象になるの？



「地域における絆づくりに取り組むグループ」
または
「地域の資源を活用して付加価値づくりに取り組むグループ」
が対象となります。

観光・交流・誘客

地域資源を活かして体験プログラムを創り、誘客を目指す活動など

安全・安心

世代を超えて地域が一体となった防災ネットワークの構築、犯罪のないまちづくり活動など

森づくり・海づくり

山林の手入れをして森の成長維持や収穫を目指す活動など

食

こだわりの食材生産や地産地消推進、地域ブランド育成やコミュニティレストランの活動など

コミュニティサービス

市民活動センターや地域の人材バンクの運営、コミュニティビジネスの起業指南の活動など

産品開発

地域資源を活用したお土産品開発や新たな市場や販売ルート開発の活動など

福祉・保健医療

高齢者や障害者の暮らしを地域で支える活動や地域における健康増進の活動など

子育て

次代を担う子どもたちを社会全体で支え、心身ともに豊かに成長できるような次世代育成活動など

景観・環境

環境まちづくり活動、景観の保全、地域におけるリサイクル活動や地域エネルギー開発の活動など

街道

街道フォーラムや街道ウォーキングなど、街道に沿った魅力もてなしの向上をはかる活動など

教育・地元学

地域資源を掘り起こし新たな価値づくりにつなげる活動や地域における教育活動など

情報発信

地域の情報発信や地域内、地域間での情報や知識の共有、流通を手がける活動など

うま

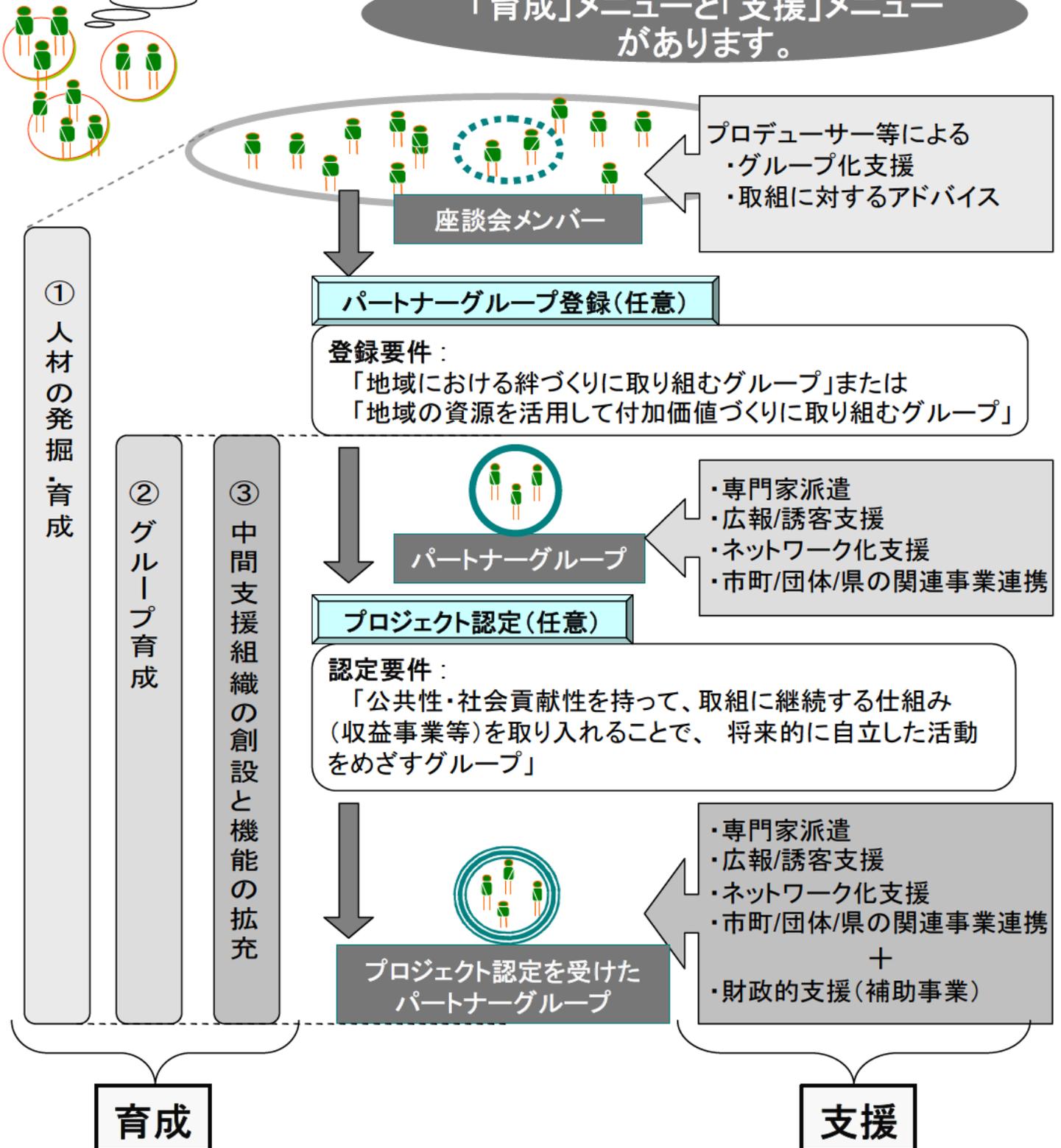
「美し国おこし」パートナーグループ

3. 「^{うま}美し国おこし・三重」の進め方

Step 2 住民グループがパワーアップする環境の整備 ①

どのような支援や利点があるの？

「育成」メニューと「支援」メニュー
があります。



3. 「^{うま}美し国おこし・三重」の進め方

Step 2 住民グループがパワーアップする環境の整備 ②

支援メニュー

専門家派遣

「ツーリズム」「ブランド開発」「産官学民連携」「流通・マーケティング促進」「接遇」「建築・景観」「まちづくり」などの分野の専門家を派遣します。

広報・誘客支援

実行委員会内に専門の組織を設け、効果的な方策を検討し、県や市町とも連携をとりながら広報・誘客事業を展開していきます。

ネットワーク化支援

地域ごと、活動分野ごとの地域づくりの担い手やサポーターのネットワークづくりを進め、分野ごとのリストを作りグループとマッチングさせます。

財政的支援

・プロジェクト認定を受けたパートナーグループに対する支援

プロジェクトが認定された、パートナーグループが行う、自立・持続可能な地域づくりの取組に対する初期投資に要する経費を市町とともに支援します。

・市町が参画する実行委員会等が実施する「美し国おこし」の取組への支援

市町を含む地域の多様な主体が参画する組織による取組を支援します。複数の市町からなる広域の取組についても対象とします。

市町・団体・県等との連携・協働

行政、各種団体等の様々な地域づくりを促進するための制度を有効に活用し連携することにより、相乗効果を発揮していきます。

育成メニュー

人材(キーパーソン)の発掘・育成

- ① 市民プロデューサー養成研修……経済的な視点とノウハウを持った人材を育成します。
- ② ファシリテーター養成研修……「場づくり」のスキルや「進行役」としての心構えを持った人材を育成します。
- ③ 広報・情報発信研修……情報発信のスキルや交流創出のノウハウをもった人材を育成します。
- ④ マネジメント研修……活動を継続させるために必要な資金確保等の手法の研修を行います。

グループ育成

- ① グループ力強化……グループの組織力やスキルを向上させるために必要に応じて、例えば、「チームワーク構築」等の研修を行います。
- ② ネットワークづくり……「交流会・顕彰会の開催」「情報収集、調整・連携」「住民と地域づくり団体の交流」など。
- ③ 地域づくりへの機運の醸成……地域づくりへの関心を高め、新たなグループ育成につなげていきます。

中間支援組織の創設と機能の拡充

グループの継続的な活動に対し、さまざまな側面支援を行う「中間支援組織」の創設・機能の拡充の際に、専門家を派遣するなどそれらの取組を支援します。また、取組期間を通じて、中間支援組織・機能の三重モデルとしてそのあり方を検討していきます。

【想定される中間支援組織・機能の例】

- ① 農林水産の生産活動を行なうパートナーグループ等を支援する「中間支援組織・機能」
- ② 集客・交流サービス活動を行なうパートナーグループ等を支援する「中間支援組織・機能」
- ③ 福祉、教育、環境、安全安心などの市民活動を行なうパートナーグループ等を支援する「中間支援組織・機能」
- ④ 上記のパートナーグループ等の法人化、起業、運営を支援する「中間支援組織・機能」

3. 「^{うま}美し国おこし・三重」の進め方

Step 3 他のグループ・国内外のグループとの連携促進

どのような連携の機会があるの？



テーマプロジェクト

共通するテーマを基にした連携

県内各地域のパートナーグループの活動の中から共通する分野の活動を連携し、「テーマに基づき全県的に取り組む美し国おこし」として全県での取組を推進します。

暮らしに密接に関わるテーマ、例えば、景観づくり、森づくり、環境、食などパートナーグループにおける類似の活動を基にしながらかテーマを設定していきます。

広域連携

地理や歴史を軸とした広域連携

地理的、歴史的な繋がりをもとに、行政区域を越えて、パートナーグループの活動を連携していきます。隣県や他県のグループとの連携も進めていきます。

特徴のあるダイナミックな連携により、誘客や話題づくり、情報発信に繋げていくことをねらいとします。

市町・地域拡大座談会 (ワールドカフェ方式)

市町や地域内での連携

市町や地域内でのパートナーグループ全員参加の拡大座談会を開催し、課題共有や地域の夢やビジョンを実現するための方策を対話する場を設けます。

短時間に多様な連携を可能にする「ワールドカフェ方式」での対話集会を開催します。

国内外の関連グループ との連携

全国的な活動団体や業界内での連携

パートナーグループの活動に関連する大規模な団体や組織との連携を進め、全国的、世界的な大会誘致などに繋げていきます。

同じ趣旨や理念を持つ全国の生産者のグループ間の連携や、ITを活用した流通ルート等との連携で新たな市場創造に繋げていきます。

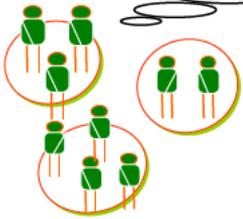
連携促進

活動の領域、裾野を拡げます
共同事業、共催事業を探ります

3. 「^{うま}美し国おこし・三重」の進め方

Step 4 活動のプロセス、集大成をイベントとして発信 ①

どのような発信の機会があるの？



2009年オープニング

- ◆ 県内各地域のパートナーが、県内数地域に分かれて一堂に集まる、地域づくりの一大交流コンベンション。(県内数地域での対話集会)
- ◆ 各地域／テーマごとの活動計画・研究発表会や国内外のオピニオンリーダーによるセミナーの他、地域自慢のPRの機会も設けます。
- ◆ 先導的地域づくりのモデル事業を県内数地域でキックオフプロジェクトとして展開、同時期開催の県内の大規模イベント等とも連携。

地域での^{うま}美し国おこし

- ◆ 県内各地域において、パートナーグループが、地域の資源を活かした取組や、地域の絆づくりの活動の成果を発表します。
- ◆ 各分野の専門家によるアドバイスや市町との連携により、プロジェクト認定を目指すなど、活動の継続性を高め、そのプロセスや成果を発信していきます。

テーマに基づき全県的に取り組む^{うま}美し国おこし

- ◆ 県内各地域のパートナーグループの取組の中から共通する分野の活動を全県的に連携し、企画段階から各市町やパートナー、関連民間企業、専門家などの参画を得ます。
- ◆ 県内の民間事業者の社会貢献活動との連携を進め、ノウハウ、ネットワークを共有していきます。

2014年集大成イベント

- ◆ 全パートナーグループが一堂に会し、6年間培ってきた成果を発表し、以降の活動の継続についての展望を語り合う場を設けます。(地域づくりの「成果を発表する」大会)
- ◆ 集客交流につながる取組の成果を集大成し、誘客の仕組み等の体制を整え、県内全域を対象とした大規模な集客交流イベントを開催。(地域づくりを「応用する」集客イベント)
- ◆ 直接、観光や集客とは結びつかない活動についても関連の全国大会やシンポジウムを開催するなど集大成の場を設けます。(地域づくりを「高めあう」交流イベント)

3. 「^{うま}美し国おこし・三重」の進め方

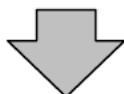
Step 4 活動のプロセス、集大成をイベントとして発信 ②

(「テーマに基づき全県的に取り組む^{うま}美し国おこし」の例)

例えば

■「食」をテーマに県内各地で、種々の活動が盛り上がりを見せてきた！

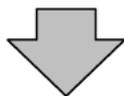
★県内各地での「^{うま}地域における美し国おこし」の展開



■県内各地の「食」をテーマにした取組を連携し、地域づくりを加速できないか？

★関連するパートナーグループメンバーを中心に

「^{うま}テーマに基づき全県的に取り組む美し国おこし」の企画スタート



「食」のもつ多面的な価値を最大限引き出して、伝説の食の地、
「御食つ国・三重」のブランド力を高めよう！

例えば・・・

「御食つ国・三重 食の祭典」

- 地域ブランド「旬巡り」年間パスポートの発行
- スローフード、オーガニックフードフェスティバル
- 生産者による消費者対話型イベント
- コミュニティレストラン、食育、地産地消のイベント …

■この他にも、テーマを基に県内各地で、多様な連携イベントが考えられます。

「歴史街道博」 「地元学ウォーキング」 「ジュニアパートナー会議」

「^{うま}美し国おこし・コミュニティ大賞」 「森づくり・海づくりサマーキャンプ」 …

お問い合わせは・・・

うま

「うま美し国おこし・三重」実行委員会事務局

電話 059 - 224 - 2644

FAX 059 - 224 - 2075

E-Mail umashi@pref.mie.jp

〒514-8570

三重県津市広明町13番地

(三重県庁2階 政策部「美し国おこし・三重」推進室内)